

第19回宝塚混声合唱団音楽会

2007年7月29日(日)

いたみホール (伊丹市立文化会館)

開場 PM 2:30 開演 PM 3:00

主催：宝塚混声合唱団

後援：宝塚市・伊丹市・宝塚市教育委員会・宝塚市文化振興財団・宝塚合唱連盟

ごあいさつ

私たちの第19回音楽会にようこそお越し下さいました。

本日は、1685年同じ年にドイツに生れ、若くしてイギリスに渡ったヘンデル、国内で活躍したバッハ、後期バロックを代表する二人の作品三曲を演奏します。

最初にヘンデルの『ディキシット ドミヌス』。イタリア時代(1707年)の宗教声楽曲の代表作。

次にバッハの『カンタータ21番』。ライブツイヒ、トーマス教会のカントル着任時(1723年)にも演奏された大規模カンタータ。

最後にヘンデルの『デッティンゲル テ デウム』。

イギリス時代(1743年)、英国の、オーストリア継承戦争*における、デッティンゲン(独メイン)での対仏戦勝利を記念するテ デウム。『メサイア』の約2年後の作品。

※ マリア=テレジアの即位をめぐる オーストリア+英 vs
プロシア+仏+ドイツ諸侯の戦い(1740~48年)

大森地塩先生のご指導のもと、今回もラテン語ドイツ語のテキストについては、団員の書き下ろし単語訳・逐語訳を含めた解説を通じて理解を深めつつ、難曲に取り組みました。未熟ではありますが、300年前のバロックの名作をお聞き下さり、ご高評いただけたら幸いです。

終曲では、ハプスブルク家(オーストリア)とブルボン家(仏)の対立から時を経て、ルイ16世と結婚し革命に消えたテレジアの末娘マリー=アントワネットの生涯なども思い起こしお楽しみ下さい。

今後とも宝塚混声合唱団へのご指導ご支援よろしくお願い致します。

2007年7月 宝塚混声合唱団



Program

曲名

作曲者

I. **Dixit Dominus** Georg Friedrich Händel

ディキシット ドミヌス
(主は言われた)

II. **Kantate Nr.21** Johann Sebastian Bach

カンタータ 21 番
「私の心に不安が多かった」

休憩

III. **Dettinger Te Deum** Georg Friedrich Händel

デッティンゲル テ デウム
「デッティンゲンの勝利のテデウム」

ソリスト:

ソプラノ	津山 和代
ソプラノ 2	木村 直未 (ディキシット ドミヌス)
アルト	橋爪 万里子
テナー	竹内 直紀
バス	森 孝裕

オーケストラ: アンサンブル・ムジカ・アニマ

指揮: 大森 地塩

曲目解説・歌詞・訳

I. Dixit dominus (ディキシット ドミヌス) Georg Friedrich Händel

フリードリッヒ・ヘンデル (G.F.Händel:1685 ~ 1759)、J.S.バッハと並ぶバロック音楽の代表者の一人であり、オペラやオラトリオ、例えば「メサイア」、組曲「水上の音楽」、「王宮花火の音楽」などの作曲者として有名である。

今回演奏される「Dixit Dominus」(主は言われた)は、聖務日課の夕方に行われる「晩課」の最初に歌われる詩編第109篇である。

ヘンデルは、1706年(21才)末から3年間イタリアに遊学し、その間の1707年4月ローマでこの曲を仕上げ、7月16日にコロンナ枢機卿邸の礼拝堂で初演されたといわれる。

この曲は若いヘンデルの気迫が漲ってくるような、技巧的で密度の高い作品である。

第1曲は、力強く壮麗な弦楽の序奏に続いて、合唱が「主はわが主に言われた、私の右に坐れ」と歌い出す。曲頭にふさわしい堂々とした合唱である。

第2曲はアリアで、アルト独唱が「主はあなたの力ある杖をシオンから出される」と美しい弧を描きながら、なだらかに美しく歌う。

第3曲は、さらに美しいソプラノ独唱のアリアで「あなたは至高の人となるだろう」と、特徴である三連音に乗って叙情性ゆたかに舞う。

第4曲は合唱で、重厚な「主は誓いを立てて」につづいて、「御心を変えることがない」と活発ダイナミックなアレグロに転ずる。

第5曲は合唱で、二つの対照的な主題が並行し、巧みに織り合わされるフーガの中で、「あなたはとこしえに祭司である」と歌われる。

第6曲はテノールとバスが、模倣的にならみながら「主はなんじの右にあり」と歌い、合唱が長いフーガで「裁きを行い給う」と続く。

第7曲は二人のソプラノ独唱が「彼は道のほとりの川から水を汲み」と歌い交わして行く。

第8曲は合唱で、「父と子の聖霊に栄えあらんことを」と三つの主題による壮大なフーガが展開され、輝かしい高潮をとげて全曲を閉じる。

(解説: B 森恒夫 / 訳: B 長尾精)

1. 合唱 主は言われた

Dixit Dominus Domino meo: Sede, a dextris meis,
donec ponam inimicos tuos, scabellum pedum
tuorum.

主は私の主君に言われた「私の右に座りなさい
私があなたの敵をあなたの足台とするときまで」

2. アリア 主はあなたの力ある杖を(アルト)

Virgam virtutis tuae emittet Dominus ex Sion:
dominare in medio inimicorum tuorum.

主はあなたの力ある杖をシオン(エルサレム)から
差し出される 「敵のただ中で支配しなさい」

3. アリア あなたの高貴な力が現れる(ソプラノ)

Tecum principium in die virtutis tuae in splendoribus sanctorum: ex utero ante luciferum genui te.

聖なる輝きの中であなたの力が現れる日 それは高貴な力である 夜明け前に私はあなたを産んだ」

4. 合唱 主は誓われた

Juravit Dominus. Et non poenitebit eum.

主は誓われた そしてそれを思い返されることはない

5. 合唱 あなたは永遠に祭司

Tu es sacerdos in aeternum secundum ordinem Melchisedech.

「あなたはメルキゼデクと同じように永遠に祭司である」と

6. ソロと合唱 主はあなたたちの右に

Dominus a dextris tuis, confregit in die irae suae reges. Judicabit in nationibus implebit ruinas, conquassabit capita in terra multorum.

主はあなたたちの右に立ち 怒りの日に諸王を打ち碎かれる 主は諸国を裁き 広大な地で首領たちを撃ち しかばねで満たされる

7. ソロと合唱 王は道すがら水を飲む

De torrente in via bibet, propterea exaltabit caput.

王は道すがら流れから水を飲み 頭を高く上げる

8. 合唱 父と子に栄えあらんことを

Gloria Patri, et Filio, et Spiritui Sancto, sicut erat in principio, et nunc, et semper. Et in saecula saeculorum amen.

願わくは父と子と聖霊に栄えあらんことを始めにありしごとく 今もいつもそして世々限りなく 確かに

II. Kantate Nr.21 「私の心に不安が多かった」

Johann Sebastian Bach

バッハ作曲のカンタータは200曲が現在残されている。第21番はバッハがワイマール宮廷楽師長であった頃の作品で、初演は1714年6月17日と記録される。

曲は2部にわかれており、作曲当時は第1部終了の後、説教、その後、第2部が演奏された。

序曲、シンフォニア。まさに副題そのもののような沈痛な響きからはじまる。

第2曲、合唱。「我が心、憂いに満ち」とカノン風に歌っていく。「汝の慰めが我が魂の楽しみとなる」の部分からは、慰めと楽しみの曲想に変わる。

第3曲、ソプラノアリア。オーボエによる哀切極まる前奏。続いてソロが「ため息、涙、苦しみ、臆病なあこがれ、恐れと死が我が心をさいなむ」と歌う。



テノールのレシタティヴォ(第4曲)「ああ我が神よ。何故に私を見限られるのですか。」、アリア(第5曲)「涙の川、苦しみ的大海原、帆柱も錨も引き裂かれる船、沈み込む深淵…。悲嘆の心が波打つ様な弦楽合奏が印象的。

第6曲、「神は我が助け、私の神」劇的かつ力強いフーガが鳴り響く。第1部終了。

第2部、ソプラノとバスの重唱(第7曲と第8曲)。ソプラノ(魂)が「イエス様、私の光。あなたはどこに。」と問いかけ、バス(イエス)が「ここにいる。お前のそばに」と答える。

第9曲、合唱とコラール。下降調と上昇調が反進行していく中、コラールが歌われる。

第10曲、テノールのアリア。「魂よ。心よ。喜びなさい。」喜びに溢れる音楽。

第11曲、合唱。神を永遠に賛美するフーガ。最後は壮麗な主和音で完結する。

全体を通じて、前半に、悩み、苦しむ人間の姿が表現され、後半に、キリストによる救いと慰め、そして、最後には信仰による勝利が高らかに歌われる。青年期バッハの代表的作品。

(解説:T 広田修/訳:B 長尾精)

第1部

1. オーケストラ

2. 合唱(詩編94-19)

Ich hatte viel Bekümmernis in meinem Herzen;
aber deine Tröstungen erquicken meine Seele.

私の心に不安が多かったが
あなたの慰めが私の魂を楽しませる

3. アリア(ソプラノ)

Seufzer, Tränen, Kummer, Not, ängstlich
Shnen,
Furcht und Tod nagen mein beklemmtes Herz,
ich empfinde Jammer, Schmerz.

ため息 涙 心痛 苦しみ 不安な切望
恐れと死が私の重苦しい心をさいなむ
私は悲嘆 痛みを感じる

4. レシタティーボ(テノール)

Wie hast du dich, mein Gott, in meiner Not,
in meiner Furcht und Zagen, denn ganz von mir
gewandt?
Ach! kennst du nicht dein Kind?
Ach! hörst du nicht die Klagen von denen, die
dir sind mit Bund und Treu verwandt?
Du warest meine Lust und bist mir grausam
worden.
Ich suche dich an allen Orten, ich ruf und schrei
dir nach, allein mein Weh und Ach scheint jetzt,
als sei es dir ganz unbewußt.

神よ 一体どうしてあなたは私が苦しい時に
恐れて怯えている時に私に全く背を向けてしまわれ
たのですか
ああ あなたの子をご存じないのですか
ああ 契約と誠実であなたと結ばれた者たちの
嘆きを聞いてくださらないのですか
あなたは私の喜びでしたが
恐ろしい方になりました
私はあらゆる所であなたを探し 呼び叫ぶが
私の悲しみ嘆きは今や
全くあなたに知られていないようです

5. アリア(テノール)

Bäche von gesalznen Zähren, Fluten rauschen
stets einher! Sturm und Wellen mich versehren,

塩辛い涙の小川
奔流が絶えずざわめき流れて行く

und dies trübsalsvolle Meer will mir Geist und
Leben schwächen,
Mast und Anker wollen brechen! Hier versink
ich in den Grund, dort seh ich der Hölle Schlund.

6. 合唱 (詩編 42-12)

Was betrübst du dich, meine Seele, und bist so
unruhig in mir? Harre auf Gott! denn ich werde
ihm noch danken, daß er meines Angesichtes
Hilfe und mein Gott ist.

嵐と波が私を傷つけ
この苦難に満ちた海が私の霊と命を弱め
帆柱と錨が割れようとする
ここで私は底へ沈み あそこで地獄の口を見る

なぜ悲しむのか 私の魂よ
そしてそんなに不安なのか
神を待ち望め 私はなお神に感謝したいから
神は私の救いで私の神であることを

第 2 部

7. レチタティーボ (ソプラノ S 魂 バス B イエス)

S: Ach, Jesu, meine Ruh, mein Licht, wo
bleibest du?

B: O Seele sieh! ich bin bei dir.

S: Bei mir? hier ist ja lauter Nacht!

B: Ich bin dein treuer Freund, der auch im
Dunkeln wacht, wo lauter Schalken sind.

S: Brich doch mit deinem Glanz und Licht des
Trostes ein!

B: Die Stunde kommet schon, da deines
Kampfes Kron dir wird ein süßes Labsal sein.

ああイエス 私の憩い 私の光 どこにおられるの
ですか

おお魂よ 見なさい 私はお前のそばにいる

私のそばに? ここはまさに真夜中ですよ

私は 闇の中でも目を覚ましているお前の忠実な
友だ 悪者ばかりいるところでも

どうか輝きと慰めの光を放ってください

その時は必ず来る そこではお前の
戦いの栄冠は甘い喜びとなるだろう

8. 二重唱 (ソプラノ S 魂 バス B イエス)

S: Komm, mein Jesu, und erquicke

B: Ja, ich komme und erquicke

S: und erfreu mit deinem Blicke

B: dich mit meinem Gnadenblicke

S: diese Seele B: Deine Seele

S: die soll sterben B: die soll leben

S: und nicht leben B: und nicht sterben

S: und in ihrer Unglückshöhle

B: hier aus dieser Wundenhöhle

S: ganz verderben B: sollst du erben

S: Ich muß stets in Kummer schweben

B: Heil durch diesen Saft der Reben

S: ja, ach ja, ich bin verloren

B: Nein, ach nein, du bist erkoren

S: Nein, ach nein, du hassest mich

B: Ja, ach ja, ich liebe dich!

S: Ach Jesu, durchsüße mir Seele und Herze!

B: Entweicht, ihr Sorgen, verschwinde, du
Schmerze!

来てください 私のイエス 元気づけてください

ああ 私は行く そして元気づける

あなたのまなざしで喜ばせてください

お前を 私の恵みのまなざしで

S: この魂は B: お前の魂は

S: 死ぬのです B: 生きるのだ

S: 生きることはありません B: 死ぬことはない

彼らの不幸の穴の中で

ここでこの傷の穴から

S: 全く滅ぶのです B: お前は受け継ぐのだ

私はいつも心痛の中を漂わなければなりません

このぶどうの汁で癒せ

そうです ああ 私は失われているのです

いや ああ お前は選ばれている

いいえ ああ あなたは私を憎んでおられます

そうだ ああ 私はお前を愛している

ああ イエスよ 私の魂と心を甘さに浸してください

不安よ逃げ去れ 苦痛よ消え去れ

9. 合唱 (詩編 116-7 他)

Sei nun wieder zufrieden, meine Seele,
denn der Herr tut dir Guts.
Was helfen uns die schweren Sorgen,
was hilft uns unser Weh und Ach?
Was hilft es, daß wir alle Morgen beseufzen unser
Ungemach?
Wir machen unser Kreuz und Leid nur größer durch
die Traurigkeit.
Denk nicht in deiner Drangsalshitze,
daß du von Gott verlassen seist, und daß der Gott
im Schoße sitze, der sich mit stetem Glücke speist.
Die Folgezeit verändert viel und setzet jeglichem
sein Ziel.

今再び安らうがよい 私の魂よ
主がお前に良き事をなさるのだから
気の重い不安も何になろう
悲しみ嘆いて 何の役に立つか
朝ごとに災いにため息をついて 何の助けになるか
私たちは悲しみによって自分の十字架(苦難)
と悩みを大きくするだけだ
苦しみの炎熱の中で思うな
神に見捨てられたと そして神の懐に座る者が
絶えず幸運にありつけると
時が多くなることを変え 皆の行く先を決めるの
だ

10. アリア (テノール)

Erfreue dich, Seele, erfreue dich, Herze,
entweiche nun, Kummer, verschwinde,
du Schmerze!
Verwandle dich, Weinen, in lauterem Wein,
es wird nun, mein Ächzen ein Jauchzen nur sein!
Es brennet und flammet die reineste Kerze
der Liebe, des Trostes in Seele und Brust,
weil Jesus mich tröstet mit himmlischer Lust.

喜べ魂よ 喜べ心よ
逃げ去れ悲しみよ 消え去れ苦痛よ
泣くことを混じり気のないワインに変えよ
今や私のうめきは歓声となる
魂と胸で愛と慰めの
至純のろうそくが燃える
イエスが私を天上の喜びで慰めてくださるから

11. 合唱 (ヨハネ黙示録 5-13.14)

Das Lamm, das erwürget ist, ist würdig zu nehmen
Kraft und Reichtum und Weisheit und Stärke und
Ehre und Preis und Lob.
Lob und Ehre und Preis und Gewalt sei unserm
Gott von Ewigkeit zu Ewigkeit. Amen, Alleluja!

屠られた子羊(キリスト)は
力と富と知恵と強さと誉れと賞賛と賛美を受け
るにふさわしい
賛美と誉れと賞賛と権力が世々限りなく我らの
神にあらんことを 確かに 神を賛美せよ

III. Dettinger Te Deum Georg Friedrich Händel

「デッティンゲンの勝利のテデウム」

ドイツ・マイン川沿いの小さな村デッティンゲンで1743年6月、イギリス・オーストリア連合軍がフランスを破る。英国王ジョージ二世は戦勝の式典のためにドイツ出身の王室音楽家ヘンデルに依頼してこの曲が出来た。

彼の約2年前のメサイアや他の作品を経て内容が円熟し、壮麗、はつらつとした合唱と深く内省的

なソロの対比も見られる中、祝典の気分が溢れるこの曲はヘンデルの声楽曲の中で高い評価を得ている。彼による英訳歌詞は英国国教会の朝の礼拝に使われた。

テ・デウムは元々カトリック教会で神を賛美し祈る賛歌の一種で、4,5世紀頃から日曜と教会の祝祭日の朝の祈りに単声のグレゴリオ聖歌で歌われて来た。その冒頭のラテン語 Te Deum「神のあなた」が曲の名前になっている。

一方で15世紀頃から多くの巨匠が合唱曲として手がけ、神の賛美は感謝を伴って戦争の終結や戴冠式など国家的祝典や記念行事に使われて大規模、壮麗なスタイルとなって来た。

歌詞はミサ曲と似た所があり、Nr.12からは詩編の句が織り込まれている。

(解説・訳：B 長尾 精)

1. 合唱

Wir preisen dich, o Gott!
wir bekennen dich, du bist der Herr!

私たちはあなたを誉めたたえます おお神よ
私たちはあなたを信じます あなたは主です

2. ソロ(アルト) と合唱

Alle Welt verehret dich, den Vater ewig und
allmächtig.

全世界があなたを崇めます 永遠の全能の父を

3. 合唱

Dir singt der Engel lauter Chor;
Dir singt der Himmel und sein mächtig Heer.

天使があなたに向かって声高く合唱します
天と多くの力ある者も歌います

4. 合唱

Vor dir Cherubim und Seraphim,
von Ewigkeit zu Ewigkeit lobsingen sie vor dir.
Heilig, heilig, heilig Herr Gott Zebaoth, Voll
sind Erd'und Himmel der Herrlichkeit deines
Ruhmes.

あなたの前でケルビムとセラフィム(天使)は
世々限りなく誉め歌う
聖なる聖なる聖なるかな万軍の神なる主
天地はあなたの名の栄光に満ちている

5. 合唱

Der hochgelobte Chor der Apostel preiset dich,
die hochgepriesne Schar der Propheten preiset dich;
die große Heerschar der Märtyrer preiset dich.
Die heil'ge Kirche durch die ganze Welt, sie bekennet
dich, den Vater unermesslicher Herrlichkeit,
und deinen hehren wahren einzigen Sohn,
wie auch den heil'gen Geist, den Tröster.

栄光の使徒たちはあなたを誉めたたえます
そして誉めたたえられる預言者たちも
偉大な殉教者の軍勢もあなたを誉めたたえます
世界中の聖なる教会はあなたを
信仰します 計り知れない栄光の父を
あなたの崇高なまことの唯一の御子を
そして慰め主の聖霊も信仰します

6. ソロ(バス) と合唱

Du bist der Ehren König, o Christ,
du bist in Ewigkeit der Sohn des Allvaters.

あなたは栄光の王です おおキリストよ
あなたは永遠に創造主の御子です

7. アリア (バス)

Als du auf dich genommen die Erlösung der Welt,
hast du nicht verschmäht der Menschheit Los.

あなたが世の救いを負わされた時
人間であることの運命を拒みませんでした

8. 合唱

Als du siegreich zerbrachst den Stachel des Todes:
Tatst du auf die Gefilde des Himmels für all' die
Gläubigen.

あなたは死のとげを打ち破って
信ずる者全てに天国を開けてくださった

9. 三重唱 (アルト・テノール・バス)

Du sitztest zu der Rechten des Herrn
in der Herrlichkeit des Vaters.
Dann kommst du,
so glauben wir, herab zum Gericht!

あなたは父の栄光の中に主の右に座っておられます
それから裁きのために下りて来られる
私たちはそう信じます

10. オーケストラ

11. 合唱

Und darum flehn wir: hilf den Deinen,
die du hast erlöst durch dein teuer Blut.

そしてそれゆえ私たちは切に願います あなたが
尊い血によって救ったしもべたちを助けてください

12. 合唱

Nimm uns auf in deiner Heil'gen Zahl zur
Herrlichkeit auf ewig.
O Herr, tue wohl,
und hilf den Deinen.
Leite uns, heb'uns empor zur Ewigkeit.

私たちを栄光のうちに永遠にあなたの聖人たちの
数に入れてください
おお主よ あなたの民に安らぎを与え
彼らを救ってください
私たちを導き 永遠に高めてください

13. 合唱

Tag für Tag sei Dank und Lob dir,
und wir preisen deinen Namen ohn'Ende auf ewig.

来る日も来る日もあなたに感謝と賞賛を
そして私たちはあなたの御名を終わることなく
いつまでも誉めたたえます

14. 伴奏と共に (バス)

Bewahr, o Herr, uns heut vor Schmach und aller
Sünd.
O Herr, erbarm dich, sei uns gnädig,
laß Herr, deine Gnade leuchten auf uns,
wie unsre Hoffnung zu dir steht.

おお主よ 今日私たちを恥と全ての罪から守って
ください
主よ 憐れんでください 私たちに情けをかけて
ください 主が私たちの上に恵みの光を照らして
ください 私たちがあなたに望みをかけるように

15. ソロ (アルト) と合唱

O Herr, auf dich steht mein Hoffen,
laß mich nicht zu Schanden werden.

おお主よ 私の希望はあなたの上にあります
私がむなししいことになりませんように